

⑤シグナルソースアナライザ マイクロウェーブダウンコンバータ

メーカー: アジレント・テクノロジー株式会社、型式: E5052B/E5053A

■ 10MHz~26.5GHzの周波数帯域で、下記機能の使用、および測定が可能。

- スペクトラムモニタ機能
- 周波数、パワー、消費電流測定
- 位相雑音測定
- トランジェント測定
- AM雑音測定
- ベースバンド測定

■ 電圧制御発振器 (VCO) 、クロック・ジェネレータなどの信号源の評価で使用可能。

■ シグナルソースアナライザ (E5052B)

様々な信号源の評価に不可欠な測定を1台で行える測定器です。

● 測定対象物

電圧制御発振器 (VCO) 、表面弾性波 (SAW) 発振器、誘電体発振器 (DRO) 、PLLシンセサイザ、RFIC、トランスミッタ、クロック・ジェネレータ等

● 測定できる項目

- ✓ スペクトラムモニタ機能
- ✓ 周波数、パワー、消費電流測定
- ✓ 位相雑音測定
- ✓ トランジェント測定
- ✓ AM雑音測定
- ✓ ベースバンド測定

■ マイクロウェーブダウンコンバータ (E5053A)

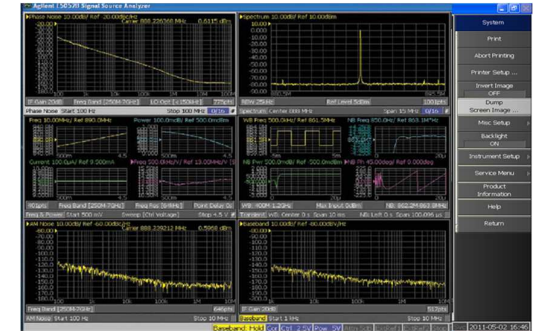
シグナル・ソース・アナライザ (E5052A) の一部として使用します。

- シグナル・ソース・アナライザと一緒に使用することにより、最大周波数が、26.5 GHz まで使用可能になります。



■ 特長

- 位相雑音測定、トランジェント測定の機能が拡張し、優れた結果が得られるとともに、複雑で時間のかかる測定も短時間で可能です。
- これまでの計測機器では困難だった、AM雑音測定、ベースバンド・ノイズ測定が可能です。



■ 主な仕様

● 周波数レンジ

- ✓ RF入力周波数レンジ
10 MHz~26.5 GHz
- ✓ 解析オフセット周波数レンジ
1 Hz~100 MHz
- ✓ 超低ノイズおよび相互相関法による位相雑音測定が可能

- ✓ 周波数トランジェント・キャプチャ・レンジ
狭帯域: 最高80MHz、広帯域: 最高4.8GHz

● 雑音測定機能

- ✓ 超低ノイズ、および相互相関法による位相雑音測定が可能
- ✓ RF接続を変更せずに、AM雑音測定および位相雑音測定が可能
- ✓ 1Hz~100MHzのベースバンド雑音測定が可能
- ✓ 最大15MHzスパンのリアルタイム・モードでのスペクトラム・モニタ

● 解析機能

- ✓ 周波数、位相、パワー 対時間の同時トランジェント測定が可能
- ✓ ビデオ・トリガ機能による予期せぬ周波数変更の捕捉
- ✓ 低ノイズDC電源による完全なVCO特性評価 (周波数/パワー/DC電源電流対VcおよびVs) が可能



公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
社会システム実証センター

〒819-1122 糸島市東1963-4

TEL : 092-331-8510 FAX : 092-331-8515

URL : <http://jiss.ist.or.jp/> e-mail : jiss-itoshima@ist.or.jp

